

『術前休止薬の再開忘れに対する薬剤師の介入効果』 に対するご協力をお願い

研究の目的と意義	<p>周術期の薬学管理では、術前は手術を安全に実施するために抗血栓剤などを休止することが、術後は原疾患の悪化や再発を予防するために適切に再開することが重要である。特に術前休止薬の再開忘れは、患者の予後に悪影響を及ぼす可能性があり、薬剤師による再開状況の確認と医師への情報提供が求められている。そこで当院では、退院時に薬剤師が常用薬の再開状況を確認する運用を開始した。</p> <p>本研究では、術前休止薬の再開忘れに対する薬剤師の介入効果を評価するために運用開始前後における術前休止薬の再開状況を調査した。</p>
研究の方法	術前に薬を休止されに患者さんの診療録（カルテ）を用いて、休止された薬剤の再開状況について集計する。
対象者	西暦2017年11月から2018年10月および、西暦2020年1月から12月に手術準備外来に受診した方のうち、術前に休止薬があった方
利用する試料/情報	情報等：診断名、年齢、性別、生年月、休止した薬剤名等
利用する試料/情報の取得方法	診療録等
利用する試料/情報の管理責任者・住所	済生会横浜市東部病院 院長 〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1
研究組織	当院単独研究
試料/情報の院外提供	該当なし
結果公表	日本薬学会第145回年会で発表予定
研究参加拒否・同意撤回	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合または一度研究参加に同意された後に同意を撤回される場合は、西暦2025年3月20日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 薬剤部/薬剤師/阿部 正人
問い合わせ先	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000(代表) 済生会横浜市東部病院 薬剤部/阿部 正人